

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 12月 27日				
一般社団法人 歩未 はるの風						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3人	3人	不要な物は置かない様にし、整理整頓を掛けています。布団の位置やバギーの置き場所を工夫して必要なスペースを確保しています	一人ひとりが十分に動けるよう、その日に合わせ余剰スペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3人	3人	国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。専門性を備えた職員配置も行っています。	休日等で人手不足に感じる事がありますが、カリキュラムを工夫し、安全に過ごす事を第一にしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4人	2人	入口はスロープになっており、室内はフラットになっています。室内の構造上、中央に柱や壁がありますが、視覚にならない様、配置や見守りに配慮しています	お子様の特性に応じ、安心して過ごす事のできる環境設定に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5人	1人	支援後の清掃や受け入れ準備を万全に行い、心地よく過ごせる様にしています。また、空間は季節やイベントに合わせた室内装飾で、様々な角度から楽しい空間を楽しめる様に工夫しています。	建物の構想上、導線の確保がしづらい事もありますが、工夫をしながら、心地良い空間作りに努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6人	－	リハビリや学習等、必要に応じて、個別のスペースを確保しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6人	－	日々、意見交換を行い、振り返りと目標設定を行っています。それ以外でも随時、話し合いの場を設け改善に努めています。	引き続き、多くの職員で協議が出来る場を設けてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6人	－	アンケート調査結果を公表し、職員間で結果を共有し、業務改善に繋げています。また、調査票からの意向を踏まえ、日々の支援にあたっています。	引き続き、保護者様のニーズをくみ取り、全体で把握し、改善に繋がるよう取り組んでまいります
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6人	－	日々の申し送りや、委員会、会議等、話し合いの場があります。その中で各々、意見交換を行い、業務改善に繋げています。	今後も意見を出しやすい環境を整え、円滑に業務が行えるように努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3人	2人	現在は保護者様と社内評価のみで、第三者評価は実施しておりません。	今後、必要に応じて実施の検討をいたします
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6人	－	社内研修はなるべく全員が参加できる日程を設定し、外部研修へも、必要に応じて参加出来る様に、情報提供を行い、調整しています。	引き続き、社内研修や社外研修へ積極的に参加をし、学びの場を経て、職員の資質向上に努めてまいります
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5人	1人	ホームページ内で公開しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6人	－	アセスメントシートを用いての面談の中で、保護者様の要望を伺い、お子さまの日々の様子や身体状況を汲み取り個別支援計画を作成しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5人	－	モニタリング・カンファレンスの中で、個々の支援について話し合い、共通理解を深め、より良い支援ができる様に計画を作成しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6人	－	作成の際は全員が必ず目を通し、計画に沿った支援を提供を行っています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4人	1人	アセスメントシートを使用しています。また、日々の療育の中で、沢山のコミュニケーションを取り、その中で得た情報を共有しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6人	－	5領域も含め、アセスメントや面談での内容を、モニタリング・カンファレンスの場で協議を行い、適切な内容となる様、留意しながら設定しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6人	－	年間の活動計画をもとにプログラムを立案し、日々の活動においても日替わりで職員が立案し、チームで共有しています。	引き続き、チームでの意見交換を行い立案してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6人	－	季節に合わせた活動を取り入れたり、立案する職員が変動する事で固定化しない様に工夫しています。	時期によっては制作活動が続いてしまう事もありますが、多方面からアプローチをする事で視野を変え、楽しんでいただける様に努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6人	－	お子様の特性を十分に理解し、課題やニーズを考慮しながら作成しております。また、日々の状況に合わせ、柔軟に対応しながら支援をおこなっております。	今後もお子様の状況に合わせ、活動への支援を行ってまいります。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6人	－	毎日の朝礼や昼礼時に、当日の療育についての支援内容や役割を確認しています。	引き続き、チームで連携をし、支援にあたってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6人	－	送迎対応がある為、即日難しいが、翌日には必ず振り返りを行っています。早急の共有事項がある場合には、ビジネスチャット内で即日の共有を行っています。	今後も日々の療育を見直し、より良い支援に繋げてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6人	－	毎日、個別の記録や業務日誌を記入し、いつでも支援の見直しが出来る様にし、適宜、話し合いを行っています。	今後も継続して記録を行い、より良い支援に繋げてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6人	－	半年に一度のモニタリング会議を行っています。その他、お子様の状況が大きく変化した際には、適宜見直し時間を設けています。	引き続き、チームでの意見交換を密に行い、計画の必要性について考えてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4人	－	自立支援・創作活動・地域交流・余暇支援の視点を踏まえ、日々の療育やイベントを実施しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6人	－	自分で考え、自己選択できる様、じっくり待つ事を心掛けています。悩んでしまうお子様にはそばで寄り添いながら、一緒に考え、選択できる様にしています。	今後も沢山の関わりを持ち、信頼関係を築いて、個々を理解し、自己表出の力を養える様、支援してまいります
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5人	－	開催される場合には、管理者、児童発達支援管理責任者、担当者など、適任者が出席します。	機会が少ないので、多くの機会が得られる様に努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6人	－	保護者様を通し、必要に応じて、適宜、該当機関とお話させていただいています。	連携を意識して、意見交換ができる機会が取れる様に努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6人	－	保護者様を通して情報共有をさせていただいています。また、学校送迎の際に、教職員と直接、連絡調整をさせていただいています。	引き続き、学校からの受け入れを円滑に行える様、情報の共有に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5人	－	保護者様を通して、情報共有をさせていただいています。	就学前と変わらず、必要な支援が行える様に、今後も大事な情報は全職員で周知してまいります
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6人	－	移行先からの聞き取りがあった際には、必要に応じて情報提供をさせていただきます。	今後も他機関との連携を図っていきしたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2人	4人	現在、その様な機会を設ける事ができておりませんが、施設内で専門職の職員が連携を図り、研修を実施しています。	今後は地域との連携も踏まえて、新たな学びの機会が設けられる様に努めてまいります
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3人	3人	イベントを通して、交流する機会を設け、地域の施設や、公園で触れ合う機会があります	今後も地域に根ざした活動を行っていけるように努めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3人	3人	参加申請をしています。	協議会への参加申請をしていますが、なかなか通らない現状があります。引き続き参加意欲を示してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6人	－	毎日の様子は連絡帳にて共有し、必要時には電話連絡をさせていただいています。その他送迎時や面談にて相談をし、共通の理解をさせていただいています。	引き続き、室にコミュニケーションが取れる様に努めてまいります。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4人	2人	プログラムとしての実施はありませんが、面談等で、お子様との向き合い方を一緒に考える時間を設けています。	今後も変わらず、保護者様の相談にお答えをし、トレーニング等、ご要望があれば、対応が出来る様に検討してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6人	－	契約時に説明をさせていただいています。また、不明点があれば、随時、説明を行っています。	今後もわかりやすく、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6人	－	ご利用に対しての希望調査書を取り、面談を通して、お子様とご家族様の意向を確認しております。	今後も、お子様の意思を尊重し、要望や意向に沿って作成してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6人	－	保護者様との面談を実施し、ご確認の上、同意をいただいています。	今後も引き続き、より良い支援に繋がる様に、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6人	－	随時、お話を聞かせていただいています。面談時にも、一緒に考え、支援に繋げています。	引き続き、信頼関係を構築し、気軽に相談して頂けるように努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6人	－	茶話会を開催しています。その他家族参加のイベントも行い、参加していただく事で保護者様、ご兄弟様の交流の場を設けています。	今後も、ご家族様同士で、交流できる場の企画、提供に努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6人	－	お子様や保護者様からの苦情やご意見をいただいた場合には、真摯に受け止め、迅速に対応をさせていただいています。	今後もご意見等いただいた際には、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6人	—	Instagramや毎月のおたよりにて、情報提供をしています。また、号外のおたよりにて活動報告を発信する事もあります。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6人	—	個人情報の取り扱いには細心の注意を払い管理し、重要事項等、鍵付き書庫にて保管しています。	今後も個人情報記載事項の書類の取り扱いには十分に留意してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6人	—	言葉だけでなく、お子様に合わせた様々なツールを利用しコミュニケーションを取っています。また、保護者様とは連絡ツールや対話において情報伝達、共有に努めています。	今後も合理的配慮を念頭に置き、柔軟な対応に努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2人	3人	ハロウィンで地域を回ったり、町のクリーン活動を実施しています。また、地域の花壇の植栽を依頼され実行し、様々な交流を図っています。	今後も地域の皆様に参加していただけるようなイベントの企画検討をしてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6人	—	全てのマニュアルにおいて、保護者様向けに紙面での配布をし、周知、説明をしています。また、年間予定に訓練を組み込み、実施しています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6人	—	地震、火災、水害を想定し、マニュアルに基づき訓練を行い、随時確認、見直しをしています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6人	—	契約時にアセスメントを取り、確認を行い、1年毎に必要な事項の確認・修正等行っています。その他、変更があった際は随時確認をしています。	今後も保護者様と連携し、お子様の状況把握に努めてまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6人	—	契約時や受け入れ時に聞き取りを行い対応しています。また、アレルギー一覧表にて職員間での共有をしています。	今後も飲食の際には十分に留意し、必要に応じてその都度確認をさせていただきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6人	—	安全委員会の設置があり、計画に基づき、研修、訓練の実施をし、安全管理に配慮した上で日々の支援をしています。	引き続き、安全管理に留意し、支援してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6人	—	非常災害の備え等、緊急時対応が出来る様、取り組んでおり、連絡体制の共有も行っています。	引き続き、安全確保に努め、内容の周知を行ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6人	—	申し送り内で事実確認と共有、今後の対策を検討し、月ごとにとりまとめています。	引き続き、安全管理に留意し、支援してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6人	—	3カ月に1回、虐待研修、訓練を実施しています。	引き続き、定期的な研修、訓練を実施し、虐待防止に努めてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6人	—	身体拘束の必要性について、お子様の状況に合わせたサポートが出来る様に、適宜会議を行い見直しをしています。また、保護者様には内容が確認できる様に、同意書をいただき、支援計画書への記載をしています。	今後も必要性を十分に検討し、丁寧な説明を心掛け、身体拘束の適正化に努めてまいります。